



福居



vol.105



8月度例会 場所/池田町志津原キャンプ場

CONTENTS

会長あいさつ/活動報告/
YOSAKOI イッチョライ/NPOサポート/
特集私の趣味・特技/西木田通信/
新会員紹介・おめでた・新社屋





福井商工会議所青年部 会長
高原 裕一

『福井YEGブランド』

30年ビジョンに向けた課題

- (1) テーマコミュニティの創出
- (2) まちづくりに関わる市民リーグ構想具現化
- (3) 志と質の高い起業家の輩出。

この3つの課題に関して「協働」を推進していく。そしてこれらの活動を通して、自らのブランドを構築・発信することが本年度の大きなテーマでした。

17年度がスタートして早や半年。徐々に具体的活動につながってきていると思います。たとえば、

- ・足羽川の桜と周辺環境を整備するための検討会に参画。利用者側の意見として具申する。
- ・ふくいブランド大使の組織化とこれまでつながりの薄かった商工会議所女性会とブランド大使事業を通じたコラボレーション。

- ・アントレ・ターミナル構想に基づく、起業家例会のオープン化。
- ・アントレ・キッズ事業を通じた地域、学校と企業との協働事業の実現。
- ・市民会議に代わるまちづくり市民活動の推進。
- ・ふくい春祭りへの協働模索。

これらの活動は言挙げ、つまり30年のビジョンを打ち立てたために、意識と活動にベクトルができたことに起因します。これら以外にも会員大会など、大きな事業も控えています。これから取り組まなければならない課題は多く、重いものがありますが、どの活動も今しか出来ない活動であります。30年後の未来に向けて、少なくとも、あと半年、一緒にがんばって行きましょう！これらの活動は我々のビジネス観を醸成するものでもあると確信しています。

行動の中にこそ、ブランドがあります。

時代行列



平成17年4月10日(日)
会員委員会
五十嵐 嘉紀

越前時代行列、これは、青年部の新入会員時からの楽しみでした。私が最初に参加した頃から比べるとかなりレベルアップしたと思っています。

隊全体の中で唯一のパフォーマンスがある、今年のパフォーマンスは例年通りと考えていたが、今年それは難易度☆☆☆で1回や2回の練習ではとても出来そうもないくらいのもので【あと練習は4回しかナイ!!】正直焦ったが、そこは青年部、難易度が高くても仁愛大学モダンダンス部の女性たちとのコラボとなれば出席率は抜群で、あっという間に身につけてしまい私は改めて感心した。それと、昨年入会で我が委員会の委員長、山田君の努力にも感心させられました。

4月にもならないのに事務局に足を運ぶ山田委員長は執行部並に働いていたのではないのでしょうか？ 委員会のメンバーもその努力に心を動かされました。

それと、もちろん当日も楽しませてもらいました。演舞やパフォーマンスはそうでしたが、まず、あの清川直前が裏方に徹し、寂しそだった顔、県庁での親友トミーの不審者騒動(笑)、2次会での堀田さん、ともあれ、準備期間から約1ヶ月しかなかった割には中身のある1ヶ月であり、高原丸の船出にふさわしい最初の事業でした。

4月度総会例会

平成17年4月27日(水)
福井パレスホテル
総務委員会 菊 祥行
「コミュニケーションから始めよう
〜チャンネルだらけの日中友好〜
〜ネットワークセッション&交流会〜」

YEGの集う、片町での例会開催...と言いますと、なにやら不謹慎ですが、まっとう真面目に四月の外交的に微妙な時期に、福井在住の華僑華人聯誼会(かきょうかじんれんぎかい)の皆様と、国際交流の第一歩、異文化コミュニケーションを図り相互理解を深める為の例会をパレスホテルにて開催しました。

総会後の例会という事で、時間は押しぎみでしたが、参加者が多く、場所選定も含め、まずまずの滑り出しでした。残念だったのは、出席との回答者でおいでいただけなかった方、ドタキャンの方がいらっしやっただけで、今回の例会は飲食を伴い、会費が発生したためちょっと予算的に辛かったです。ハートの辺がチクチクするあなた！次は来てね。

さて、例会内容については、中国と日本の習慣や常識をクイズ形式に出題。その問題を基に、各テーブルで文化の違い等について話し合っ頂くもの。日本に於いても、中国に於いても独特の風習もあり、必ずしも正解のある問題ばかりではなく、どちらかと言えばテーブルそれぞれで完結してもらった、主幹委員会としては手を抜いた...いえ、参加者がより議論しやすい環境を考えたりです。

例えば、YEGでも頻繁に使われる言葉「質問」や「検討」を、中国でのビジネスに於いて使っちゃうと大変。或いは、それぞれの国で好まれる数字は？ 結婚式のお祝い金額も様々。答えは：菊委員長に聞いて下さい。

それから少しヒヤッとした部分。時期が時期だけに、中国におけるデモについて、聯誼会直前会長から一言...

この発表が終わった後、各テーブルではお互いの国を思って、本音トークまで発展した人達もいたとか...。中国人は、しっかりとした念意を持ち、それを伝えるべく一所懸命に訴えます。私たちYEGも、社会に貢献すべく色々な事業を、色々な手法を通し、色々な人達、団体に訴えています。しかし、彼らのそれとは少しエネルギーが足りないようにも感じました。自分の念意を伝え、巻き込んでいく為には、相手の事をしっかりと理解しようという前提が必要です。念意は一つでも、その手法を考える時は、色々な人と意見交換をし、自分も相手も活かせる方法を考えなければならぬのです。



5月度例会

平成17年5月25日(水)
福井商工会議所 地下 国際ホール
アントレプレナーズ委員会 鷺田裕之
「アントレ大学」
世界一儲かる会社になるための授業

YEG 5月度例会は第一回目のアントレ大学を開催した。
講義1限目は、YEG会員の道端さんによる「コミュニケーション POWERR UP!」これはコミュニケーションアップの能力トレーニングで、会話において無視と共感を実践し体験してみることで、コミュニケーションの形成力をつけ、人間関係を豊かにする目的である。

2人1組になり、1分間話をするが、1回目は無視、2回目は笑顔でうなずき共感する。そして互いに感想を話し合うといった感じだ。
続いて、プラスストロークについて。これは相手の良い所を書き、自分がどのように見られているか、自分の存在感を再確認する目的である。グループになり、自己紹介をする。相手の良い所だけをたくさん書き出し、相手に渡す。互いに褒められた感想を聞くといった感じだ。

全員参加でたくさん話せて、授業雰囲気すぐに馴染んだ。ゲーム感覚のトレーニングなので興味深く、盛り上がったと思う。
講義2限目はYEG会員の中山さんによる「簡単!企業分析」財務諸表の主な用語、簡単な計算書の説明、比



率分析式の説明後、実際の財務諸表データを参考に数字の読み方、見極め方を「松田助教」と楽しく分析した。硬い内容であったが、短時間に雰囲気づくりと展開の早さで、充実したもの出来たと思う。
例会後の交流会では参加者全員から、例会の良い点、悪い点、提案箇所などを発表した。特に悪い点は会員参加の少なさである。早めの案内や、案内文の見直しなどが提案された。

6月度例会

平成17年6月19日(日)
福井市立郷土歴史博物館
まちづくり委員会 堀田達也

格言に「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」という言葉があります。また、青年部の歌「伸びゆく大地」に「歴史の舵はいつの世も熱ある者が取って来た」という一節があります。私たちがまちづくり委員会ではこのことを踏まえて歴史に学んだまちづくりを展開したいと思ひ福井市立郷土歴史博物館にて「歴史に学ぶ」例会を開催いたしました。

この例会を通じて私達YEGメンバーが先人や子孫に恥じないようにしっかりと福井の舵を取って行く必要があると感じて頂けたなら幸いです。



6月度例会交流会

平成17年6月19日(日)
会員委員会 前田裕之
「あかしもん散歩」

郷土歴史博物館での6月度例会に引き続き、その第2部として「あかしもん散歩」を実施しました。「あかしもん散歩」というのは、十数年前の福井YEGの先輩方の造語で、今回は、地図を片手にチェックポイントをまわりそこでクイズに答えていくという、ウォークラリーです。福井市中心部のまちづくりに焦点をあて、養浩館、国際交流会館、県庁、新しい福井駅、中央公園、神明神社などをコースの中心としました。日曜日ということもあり、青年部の会員およびその家族の参加もあり、好天にも恵まれ充実した休日をお過ごしことができました。



愛知全国大会

平成17年7月8日(金)・9日(土)
総務委員会 菊 祥行
「第25回全国大会 愛知大会」

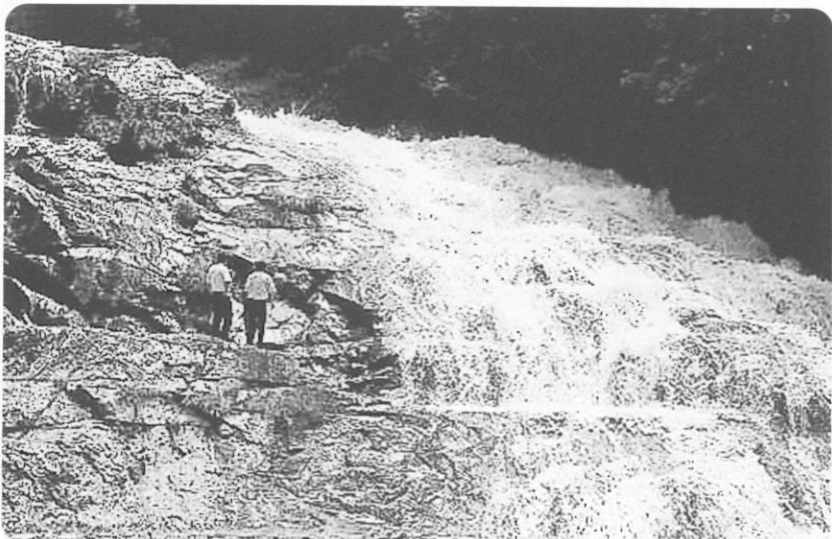
豊田編報告

8日午前7時、会議所をバスで出発。北陸・名神・東名高速道を経由し、午前10時に会場である豊田スタジアム(愛知県豊田市)に到着。登録受付を行い、豊田スタジアムを見学しました。四万五千人を収容できる日本最大級の球技専用競技場のあまりの大きさに参加者一同驚きの声を上げていました。



「美(み)の分科会」に参加するメンバーは会場である名鉄トヨタホテルヘンシャルバスで移動。11時15分からの分科会では「Think Global, Act Local」のテーマで「国際社会の一員であるべき国際人としての教養を高めよう」と指針に掲げる商工会議所青年部が世界に何を発信し、どう世界と繋がるかを話し合いました。「技(き)の分科会」の参加メンバーは時間がありましたので、スタジアム近くの観光スポット「二畳ヶ滝」を散策。増水で、パンフレットのような澄んだ色ではありませんでしたが、マイナスイオンを感じながら、仕事も青年部活動も忘れ、ひと時の休息を楽しみました。そのあと、12時より豊田スタジアムで開催された分科会に参加。トヨタ自動車株式会社のデザイナーである長屋明浩氏を講師に迎え「2000年8月、レクサス、はじまる。レクサスブランドの方向性」というテーマの下、トヨタ自動車株式会社のブランド推進・販売戦略を学びました。

14時からは記念式典に参加。12月に開催される「トヨタカップ ジャパン2005」の会場であるピッチ上にステージが生まれ、観客席から眺める風景は異様さも感じましたが、ステージ上には主催者や来賓等の登壇者がいない(何故か司会者はいましたが……)異例の取り組みには新鮮さを感じました。
引き続き行われた「Think Global, Act Local YEG 国際発信」では午前中行われた「美(み)の分科会」でのアジア商工会議所連合会 青年企業家委員会委員長 アナ・ペリケ氏と荒濱会長との対談の成果が報告され「愛知宣言」が採択されました。
18時からの大懇親会はピッチ上での開催。Jリーグの公式試合やトヨタカップが行われる場所に立ち、選手が走り回る芝生の感触を確認しながら(もちろん懇親会会場はビニールシートが敷かれていました)、名古屋の美味を堪能し、地域性のあるアトラクションを十分に楽しみました。
20時、会場の豊田スタジアムを後にし、バスにて宿泊地の豊橋に移動。車中では豊橋YEGの方々にてアテンドをしていただきビールやおつまみの差し入れや夜のインフォメーション・翌日の万博会場の説明等を行っ



二畳ヶ滝にて

ていただきました。
21時頃宿泊先である「ホテルアソシア 豊橋」に到着。チェックイン後は全員で飲み屋街へ。全員で一軒楽しんだ後、いくつかのグループに別れ各々豊橋の夜を楽しみました。

愛知万博編報告

2日目は数名を除き、万博経験者の加藤君の提案に従い、青年部らしからぬ6時起床。おいしいと噂のホテルの朝食も食べずに6時半にはホテルを出発し万博会場へ向かいました。加藤君やバスの運転手も「こんな早くに来たことがない」と驚く7時半に会場に着。既に数台のバスと団体客がいたので足早にゲートに向かい開門を待ちました。9時の開門と同時に駆け足で「長久手 日本館」の14時を予約。

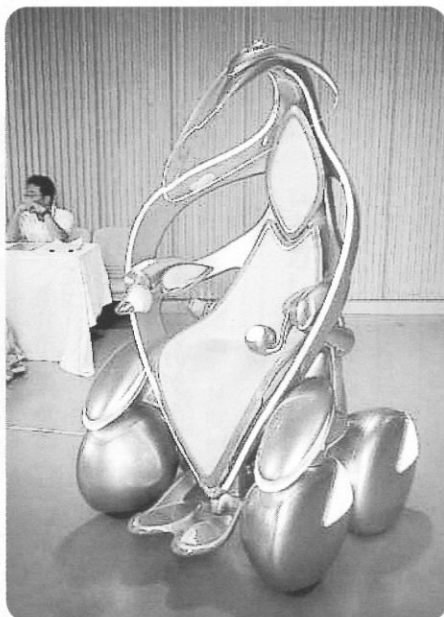
その後、長い道のりを駆け足のまま人気の企業館へ。「日立グループ館」に辿り着きましたが既に2時間待ち。遅れたメンバーは「三井・東芝館」「トヨタ館」の整理券を確保し、それぞれ万博のメインともいえる企業パビリオンを堪能しました。企業パビリオンを見た後、12時からは愛・地球広場で開催されたYEG国際交流会記念事業「地球のステージ」を見学、その後はいくつかのグループに別れ、各国のパビリオンや「サツキとメイの家」を外

から見学したり、昼食を取り、各々今世紀最初の万博を楽しみました。

14時から予約をしていた「長久手 日本館」を見学。途中、雨に降られたりもしましたが15時に再度集合し、万博会場を後にし福井に向かいました。

18時に会議所前に到着。現地解散となりました。

企業パビリオンの感想は万博に行ったメンバーに聞いてください。ちなみにこの日の入場者数は十五万五千人。三連休時は21万人だったそうですがありません。



会員交流ボーリング大会

平成17年7月15日金

総務委員会 山田 武司

先日行いましたボーリング大会に、僕自信、青年部の皆様との親睦を深めたいと思い総務委員会委員長菊さんと総務委員 前山さんの協力のもとボーリング大会を開催しました。

皆様の協力があり、なんとか成功させることができ、感謝しています。

このボーリング大会を通し、小さな事、大きな事をするにも、沢山の人の大きな協力がなくては成功はないと感じ、今迄の仕事ではなかなか感じ取れない事を感じる事ができ嬉しく思います。

これからも、青年部の活動には時間が許す限り積極的に出席し、皆様の力になればと思っています。

三単会交流会

平成17年7月17日(日)

武生市知的障害者更正施設「あいの里」
総務委員会 菊 洋行

福井YEGからは10名が参加。月岡幹男氏を招いた研修会では様々なストレスに囲まれて過ごす現代人の「心の健康」について学び、引き続き「体の健康」を目的に行われたドッジボールでは日頃運動不足の体に鞭を打ち、健やかな汗を流しました。参加人数の都合上、福井YEG全員で編成されたチームはハンドボール経験者である吉田副会長の活躍もあり見事に優勝!

勝利の美酒に酔うとともに他単会の会員との交流も図れ、福井YEGの結束力を示すことができた一日となりました。



7月度例会

平成17年7月27日(水)

福井商工会議所 地下 国際ホール
アントレプレナーズ委員会 鷲 田 裕之

「アントレ大学」

世界一儲かる会社になるための授業

今回は「初対面の一分で好印象を与える方法」と、いうテーマで行った。

参加者の実際を見てみると、初対面の印象というのは1分どころか10秒ぐらいかも!と感したぐらいだ。少しでもマイナスの要因があるだけで、非常に頼りない印象がしてしまうものである。

まちづくりYEG塾

平成17年8月9日(火)

福井商工会議所 AB会議室

まちづくり委員会 堀 田 達也

「2511010年の姿」

検討会との意見交換会



やはりビジネスでの初対面では、ハキハキ大きな声で話し、態度もキビキビかつ堂々とし、何を伝えたいのをきちんと企画し、まとめてから話す。

これを実行できれば、儲かる会社にまた一歩近づけるでしょう!

まちづくりYEG塾と題して、福井県の「ふくい二〇三〇年の姿」検討会メンバー14名と福井YEGメンバー17名による意見交換会を開催しました。番匠君の名司会ぶりも然ることながら、検討会・YEG双方からふくいの未来の姿や協働のありかたについて活発な意見交換が行われ、とても時間が足りないくらいでした。このような機会をうまく活用していければ、行政との協働意識が深まり、福井YEGの事業もどんどん発展していくものと思います。

YOSAKOI イッチョライ

平成17年8月6日(出)・7日(日)

ネットワーク委員会
チームリーダー 郡谷 宏 邦

YOSAKOI イッチョライが青年部から独立し、青年部全体としてイッチョライに直接的にかかわる事業として、毎年結成されるオドロッサであるが、今年も5月初めから募集開始し、約60名のYEGメンバーと一般市民の方が集まっていた。毎年参加しているメンバーもいれば、全く始めての方など、全員が同じ目標に向かってベクトルを合わせ踊りを作り上げていくというのは、大変楽しいことでした。本番終了後の達成感は何とも言いがたいもので、たった2ヶ月間という間でしたが、チームがひとつになれた気がします。



YOSAKOI イッチョライが始まった年から結成されたオドロッサであるが、7年目を迎えるイッチョライで、数少ない7年連続出場ของทีมである。これまでオドロッサを卒業して新たに自分のチームを立ち上げたり、運営にかかわっていたり、新たなイッチョライへの関わりを 見せるなど、オドロッサが果たしてきた役割というのは大きい。来年度以降も多くの一般市民はもとより、多数のYEGメンバーにも参加して、イッチョライの楽しさを体験していただきたいと思います。

2000運営サポート

平成17年8月6日(出)・7日(日)

ネットワーク委員会
NPO運営サポート 松井 良 平

YOSAKOI イッチョライが独立して初めて迎える、フェニックス祭り及び2回目の独自会場で、嫁に出した青年部としては今年も運営スタッフとして側面から2日間NPOをサポートしました。やはり、夏はイッチョライでありますし、青年部はイッチョライだと実感しました。踊り子の満面の笑み、運営スタッフの光る汗。観る側、踊る側、創る側が一体となるものだと思います。



YOSAKOI イッチョライも年々市民の方々から企業や運営などお祭りを作る側にかかわるようになって来ました。これもNPOの活動の賜物だと思っています。YOSAKOI イッチョライから独立したYOSAKOI イッチョライですが、親の立場としては今後ともYOSAKOI イッチョライをサポートしていきたい、【協働】して盛り上げていく必要があると思います。最後になりましたが、お祭り期間中、踊り子として、運営スタッフとして、様々な形でイッチョライに関わっていただいたYEGメンバーの皆様心より感謝申し上げます。



8月度例会

平成17年8月27日(出)・28日(日)

池田町志津原キャンプ場
会員委員会 前田 裕 之
「会員家族親睦キャンプ」報告

8月27日(出)・28日(日)の1泊2日にて、8月度例会(会員家族親睦キャンプ)を池田町の志津原キャンプ場にて開催しました。青年部としては数年ぶりのキャンプ開催でしたが、あじさい会からも、数名の方の参加いただき総勢50名の参加となりました。内容はドッジボール大会に始まり、バーベキュー、キャンプファイヤー、きもだめし、花火大会、地元の方による『森の学校』、そしてそば打ち体験と盛りだくさんの企画です。ドッジボール大会では子供たちに交じって歓声をあげ、きもだめしではお化けのマスクに奇声をあげ、キャンプファイヤーはYOSAKOI イッチョライ総踊りで締めくくりました。皆が童心にかえり、大自然を満喫しました。夜がふけてからも、満天の星空の下で、ビール片手に親睦を深めあい、夏休みの最後の思い出となりました。



特集

会員の知られざる趣味・特技

なまぐさ(裸)

高原 裕 一

腰ひもと鉢巻きだけのほぼ生まれたままの姿で、淡水や海水で身体と心を清めます。毎月1回「和田八幡宮裸練成会」の例会にも参加し、基本的に冬は水による裸を、夏は火による「裸の行」を行います。

2月の「大寒」の時には老若男女が入り乱れ約100名の壮大な裸行が行われます。(イーグル鷺田さん、パイプ鈴木さん、バックエーJ上坂さん、ピアー龍田さんなど、YEGのメンバーも参加していますよ!)日々多忙の中、「清新なひととき」をあなたも裸によって得ませんか?生まれのままの姿で、腰ひも一本あればいい!「何故かサークル勧誘みたいになっちゃいました(汗)」



和太鼓

山本 清 美

私の趣味は和太鼓です。週に一度、美山町の車屋正昭太鼓道場に通い始めて4年になります。太鼓は誰でも簡単に首が出せます。でも単純だからこそ難しく奥が深いのです。

「ドーン」という一打はその時の気持ちに左右され音の表情や色が変わります。打手自身の心が表れます。私はリズムを打つだけでなく打つ姿や打たない部分「間」を活かした魅せる太鼓を目指しています。



富士山登頂

富田 幸 市

2004年7月31日、41歳になる私は生まれて初めて富士山に登りました。当時気温は真夏日で33℃、富士山の五合目は16℃:そこからスタート。ツアー客が多くすごい人でした。8月1日午前4時30分(山頂気温1℃)ついに富士山でご来光を見ることができました。感動です!日本一高い山からのご来光!



登山仲間から「富士山は見るもので登るものじゃない」などと言われ、ずっと決め込んでいました。が、ふと思いついて実際に立って富士山登山が素晴らしいことではないかと思えました。まだまだ色んなエピソードはありましたが詳しくはマッコ富田まで宜しくお願いします。

お遍路

宇佐 美 嘉 一

お遍路を始めだして7年が経ちます。淡路島七福神・高野山・四国八十八カ所・西国三十三カ所など全国をお参りしております。お四国は昨年結願し一区切り出来ました。巡礼をしていると言うと、この歳でのお遍路は福井では珍しいらしく「何か辛いことでもあったの?」と聞かれる事も度々。そんな事は全く無く、始める切掛けは、それまで父達巡礼仲間の先達(せんたつ:案内人)さんを連れていた方が、高齢になり引き続き先達出来なくなり、父達が困り寂しがっていた時に、運転手&段取り役として手を挙げたのが始まり。当初は旅行会社の添乗員のような気持ちでスタート。それが途中からはお遍路の魅力にどっぷりとはまっちゃいました。



人の優しさや心の温かさに触れたお遍路さんは心の豊かさを学び得ます。普段の生活には無い物を感じ、生きている喜びを実感します。身も心もフレッシュさせてくれる生まれ変わりの遍路旅です。行ったら必ず良いことにめぐり逢いますよ。

【私の遍路旅の一例:四国巡礼】
《参加人数》18名(平均年齢67歳)
《行程》全行程とも8人乗りワゴン3台を使用し、移動。第1番札所から2・3:と順に巡打ちで廻り、最後の88番から1番へ戻る。その後お札詣での為に高山山へ詣でる。(4年間で全5回)
《延べ日数》16日 全走行距離:6652km
《総費用》:255000円/人程
【※思い出は機会があれば2次会でもお話しします】

格闘技



清川 卓二
私の数ある特技の中で、ご紹介するのは、やはり格闘技です。
ジャッキーチェンに憧れた中学時代、サンドバックとベンチプレスを通販で買い毎日、蹴りとヌンチャクの練習を欠かさず実施していました。完全に格闘技のオタク！

フルーグラス

番匠 功

「ブルーグラス」という音楽ジャンル、ご存知でしょうか？
この「ブルーグラス」がとっても「粋」なんです。フォーク全盛を味わった私より二世代前のおじさん世代は皆「粋だねえ」と唸るはず。
この「ブルーグラス」の花形楽器のひとつが「バンジョー」です。乾いた音色に歯切れよく馬に乗って草原を駆けているようなそんな心地よい音を出す楽器です。

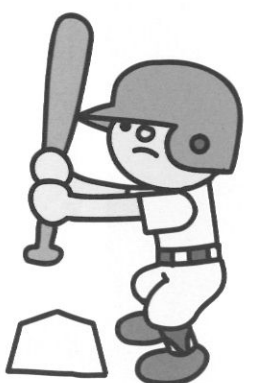


「バンジョー」を弾く、粋なおじさんになりたいと思います。
番匠（ばんじょう）という苗字に生まれからには「バンジョー」を弾く、粋なおじさんになりたいと思います。

野球

山田 武司

僕は、小学校三年の頃に野球を始めて、24才になるまで色々な形で野球を続けています。これから先も野球を通じて心身共に向上を目指して行きたいと思っています。
小学の頃は、そんなに目立つ選手ではありませんでした。中学に入り、県大会制覇をするなどチームメイトにも恵まれ、その中で中心選手として活躍していました。



福井商業野球部北野監督の目に止めてもらい、野球を通して人生で大切な事を多く教わりました。
気が付けば、野球がとっても大好きになっていました。今でも友人達のベースボールチームで白球を追いかけて、野球をすることは自分のライフワークの一つです。

意外な(?)趣味

村中 洋祐

YEGに入会し早6年。それまでは、まっとうに(?)仕事と遊びに専念していました。が、YEG活動に取り組みば取り組むほど自分の時間を削るどころか、仕事時間にも影響するようになりまして、めっきり遊びの時間が無くなり、意外(?)な趣味となったようです。

元々、外で遊ぶ事が好きな私、移動の手段も楽しみにとバイクに乗ります。知っている方も多いのですが、なぜかこのような投稿をする事となりました。
私のバイクに関するウンチクを述べさせて頂きますと、川崎重工のKAWASAKI製。1980年、A



春、チヌ釣り。夏、鮎釣り・キャンプ・BQ。秋、グレ釣り。冬、ボード(昨シーズンで2年目)等々したいのですが、通年の趣味YEGにて犠牲が出ています(笑)。

マリンスポーツ

野路 昭弘



夏はウェイクボードとよきこいと大忙しです。ジエットは4年前から、ウェイクボードは3年前からやってますが……まだまだ練習中です。

夏の暑さの中、ジエットバイクで何もない青い海を走るのも、ウェイクボードで波と遊ぶのも最高です。ただただ青く広い海と空。照りつける太陽。夏はたのしい。週末は毎日のように海でパーベキュー。
さて、来年に向けて体力づくりもしない。

子供の頃の夢

松本 達也



小学低学年の頃のピアノの発表会で

子供の頃の私は、ピアニストになるのが夢でした。
生まれた時は、家の2階に古いオルガンが一台あるだけでしたが、まだよちよち歩きの時

から私は階段をはって2階に上がり、よくオルガンをさわっては楽しそうに遊んでいたそうです。
そんな姿をみて、両親はピアノを習わせてみようと考え、私はピアノを買ってもらい小学校6年間、町内にある教室に通っていました。しかし、回りは、みんな女の子ばかり。レッスンの待ち時間には、教室に少女マンガしかおいてないため当時「マーガレット」という雑誌を読んでいた記憶があります。

昆虫採集

安岡 敦盛



子供の夏休みの間の休日に、川西方面のある村にクワガタやカブトムシをつかまえて行きます。
捕まえに行く時間帯は、朝7時ごろと少し遅めで、夕方は6時以降に向かいます。
その場所は、蜂やカマブシが多くいて、1回行くと、2、3匹はつかまえられる穴場で、子供たちも喜んで、毎年恒例となっています。

サーフィン

前田 真樹



僕の父と母はスキーの指導員をしているため、子供の頃からつねに山に連れていかれました。その時の父のクラブの会員の女の人と20才ぐらいに偶然海で出会い、たまたまサーフィンをしていたサーフィンと出会いました。
自然を相手にする遊びは文章ではなかなか伝わりません。ルールとマナーを守れば健康的で素晴らしいスポーツです。福井には海という素晴らしい自然があります。本当に福井人でよかったと日々実感しています。

3年ほど前に釣りクラブもつくりました。最近仕事・青年部は3対7ぐらいの割合です。

西木田通信

今年度から青年部を担当し、前半が経ってしまいました。よくわからないまま、4月の時代行列から始まり、総会、例会と色々経験させていただきました。
話には聞いていましたが、実際に事務局を担当し、凄いなと思った事。毎日のFAXの束、大量に入ってくるEメール、領収書と請求書の多さ。ただでさえ仕事はじっくり慎重派(遅いともいいますが…)の私はお手上げです。会員の皆様にご迷惑をおかけすることもしばしば。今しばらく温かく見守って下さい。
そんな青年部ですが、何となく1番凄いののは会員の方々の熱い想いです。1つの事業に対する会員の方々の着眼点、考え、姿勢、凄いですね。そんな熱い集団、青年部！2月の会員大会に向け一緒に頑張ります。

事務局 水野 洋人



押川 陽一
勤務先 小川印刷株式会社

はじめまして。新しい出会いを求めて、この度YEGに入会させて頂きました。仕事柄なかなか参加出来ませんが時間のとれる限り出来るだけ積極的に、皆さんと一緒にいろんな事に挑戦していこうと思います。そして、いっそう自分にも磨きをかけていきたいと思えます。片町辺りで見かけた時には、どうぞ気軽に声を掛けて下さい。



金平 承基
勤務先 若葉グラフィック

デザイン事務所の代表として日々忙しく仕事をしています。ちなみに37歳。毎晩、遅くまで仕事しているため、会員委員会も欠席が続いていますが、今後がんばるつもりです。



友高 博之
勤務先 有限会社友高室内装飾

高博之と申します。まずは、このような機会を与えて下さいましたことに感謝申し上げます。大野市・福井市を中心にクロス・床・カーテン工事・表具など総合内装工事及び施工を受け賜っております。事務所が大野市にあるので福井を縦横無尽に走り回る毎日ですが、フットワークは軽快に!!ご用命とあらば喜んで馳せ参じる所存です。皆様方にはよろしくご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。



市橋 加奈子
勤務先 株式会社アイル

株式会社アイルは、人材派遣会社として平成17年4月に立ち上がりました。「顔の見える派遣」をモットーに、女性4人で日々頑張っております。これから仕事、遊びと皆様よろしくお願いいたします。



鍋屋 昌明
勤務先 エヌアンドシイオウ

県内をはじめ、全国各地で、商業施設の設計を手がける。どんな店なら行きたくなるのか、自分も含めて楽しめる心地よいショップをイメージし、商業施設のプロフェッショナルとして形にしていけることがこの仕事の醍醐味です。プランニング、デザイン、施工、メンテナンスまで総合的にプロデュースし、魅力あるショップづくりに取り組んでいます。



山田 武司
勤務先 有限会社フクイ工芸

ご結婚・ご出産
おめでとうございます

挙式日 9月28日 (出雲大社)
朝井 巧くん
陽 子さん (旧姓 長谷川)

名前 河上 怜央くん 性別 男



生年月日 2005年6月22日 15:46
身長 50.8cm
特徴 パパと同じ鼻
父 河上 剛志

新社屋

NPO法人 ハートライセンス
理事長/道端 泰代
新住所/

福井県福井市下馬2丁目311番地
TEL 0776-35-7167
FAX 0776-35-8037

